

日本語圏と韓国語圏の知性 140 人が共にする 韓国・朝鮮の知を読む

韓国語＝朝鮮語の世界における〈知〉とは？

私たちは何を知っているのか？

何を読むべきか？ 何から始めるのか？

●この2013年秋、出版社・CUON(クオン)から野間秀樹編『韓国・朝鮮の知を読む』が刊行されます。同書は、日本語圏と韓国語圏の知識人140人がそれぞれに韓国・朝鮮の知についての5冊ずつを推挙、思いを語る書物です。誰が、何を選び、いかに語るのか？『韓国・朝鮮の知を読む』は日本や韓国などで刊行された、およそ600冊を渉猟する、渾身のブック・ガイドであると同時に、この書物自体が壮大なる1冊の知の万華鏡となっています。既に刊行前から、韓国の『朝鮮日報』、『中央日報』、『ハンギョレ新聞』などで大きく取り上げられるなど、出版界と読書人の注目を集めています。

●書かれた歴史始まって以来初めての、日本語圏と韓国語圏の知識人140名が共にする空前の1冊を編む営みとは？そして書物や出版や翻訳や文字＝ハングルは、いかに〈知〉に関わるのか？

●日本と韓国で6万の読者が共にしている名著『ハングルの誕生』(日本語版は平凡社、韓国語版はトルベゲ刊行)の著書である野間秀樹氏が、編者として、言語学者の視座から、『韓国・朝鮮の知を読む』を編む営みを語ります。

11月16日(土) 13:00-15:00


[横浜教室] 横浜駅ビル〈ルミネ横浜〉8階

●受講料 会員 2,940円。一般 3,570円。 ●当日は講師の書籍の販売とサイン会を予定しています。

講師：野間 秀樹 (のまひでき)

専門は言語学、とりわけ韓国語学、日韓対照言語学、韓国語教育。国際教養大学客員教授。前東京外国語大学大学院教授。1996-97年ソウル大学校韓国文化研究所特別研究員。2005年NHKテレビハングル講座監修。2005年大韓民国文化褒章受章。2012年韓国のハングル学会より周時経(チュ・シギョン)学術賞受賞。著書に『ハングルの誕生——音(おん)から文字を創る——』(平凡社新書。第22回アジア・太平洋賞大賞受賞。同書の韓国語版は『朝鮮日報』『東亜日報』教保文庫それぞれの〈2011 今年の本〉に選定)、『韓国語 語彙と文法の相関構造』(ソウル：太学社。大韓民国学術院2003年度優秀学術図書)など。編著書に『韓国語教育論講座』(1, 2, 4巻既刊, くろしお出版), 『韓国語学習講座 凜 RIN』シリーズ(1巻既刊, 大修館書店)など。



 朝日カルチャーセンター | 横
朝日JTB・交流文化塾 | 浜

お問い合わせ ●月～土 9:30～19:00
電話： **045-453-1122**